

率直に言って、元々信仰していた宗教における矛盾や荒唐無稽な教えに飽き飽きしていなければ、自ら進んでイスラムについて学ぼうとする非ムスリムはほとんどいません。

多くの人々は、ユダヤ教、キリスト教、仏教、道教、ヒンドゥー教、流行りの思想、「遊び教」など、様々な宗教や主義に疑問を抱き始めたとき、初めてイスラムと出会います。特に「誰が私たちを創造したのか？」「私たちは何のために生まれたのか？」といった重要な問いに答えられない宗教や、公平さや正義を無視した生き方を許す宗教、あるいは聖職者の偽善や墮落に失望したとき、人はイスラムに目を向けるのです。

どの宗教にも、ある程度の欠陥があります。しかし、イスラムだけは「どの角度から見ても」完璧です。

それにもかかわらず、今日では多くのムスリムでさえ「イスラムだけが完璧」という言葉を素直に受け止められないようです。イスラム教徒は世界人口の4分の1から5分の1を占めていますが、非ムスリムの多くはメディアを通じてイスラムを恐怖と関連づけ、偏見を持ち続けています。イスラムに正面から向き合う非ムスリムは少数であり、そのような人々こそ、最終的にイスラムの真実を求める者となるのです。

そして、イスラムを真剣に調べれば調べるほど、他の宗教の問題点が明らかになります。

例えば、クルアーン（コーラン）以前の啓示の書がもし本当に改ざんされていないなら、なぜクルアーンとは大きく異なるのでしょうか？

また、もし宗教が権力者に操られていなければ、なぜこれほどまでにイスラムと違うのでしょうか？

答えは簡単です。ただし、いくつかの本を読んで理解する必要があります。

要点だけ述べれば――

創造主は唯一であり、公平で正義に満ちた方であり、私たちが試すためにこの世に命を与え、最終的に樂園という報酬を望んでいます。

人生の目的が「アッラー（唯一神）の喜び」でなくなれば、人間は迷子になります。なぜなら、終着点を見失った人生には、本当の意味がないからです。

人は、自らの理性と力だけでは、複雑な人生を正しく導くことができません。だからこそ、アッラーは人間に啓示を与えました。かつての啓示はすでに改ざんされたため、新たな啓示が必要となったのです。もし過去の宗教が正しく残されていたなら、アッラーが新たな啓示を下す必要はなかったはずです。

新たな啓示が下されたという事実そのものが、過去の啓示が改ざんされていた証です。

そして、人類にとって正しい道を示すために、アッラーは最終の、完全で、永遠に守られる啓示を授けたのです。

それが「クルアーン（コーラン）」です。ムスリムたちはこの書こそが、最終の啓示であると信じています。あなたは、読んでみる価値があると思いませんか？

では、もう一度問いましょう。なぜイスラムを信じるのか？

なぜ、私たちはイスラムが純粹で、真の宗教であり、最終の啓示であると信じるのか？

「私を信じてください！」――私たちはよくこの言葉を耳にします。

コメディアンがネタにし、道端でふざけ合い、アメリカの街では皮肉交じりに使われています。

でも、私たちが信じるべきは「私」ではなく、「創造主」です。

クルアーンを読んでください。他の本も調べてください。インターネットでも構いません。

ただし、何をするにしても、真剣に、誠実に。そしてアッラーに導きを祈ってください。

あなたの一生はアッラーにかかっています。あなたの魂を啓き、清めるためにも。



チャット&ディスカバリー

なぜイスラム教を信じるのか？